

昭和 60 年度 事業報告書および

昭和 61 年度 事業計画書

大阪市南区難波 2 丁目 3 番 26 号

財団法人 川口交通遺児育英会

昭和60年度 事業報告書

I 事業の状況

1. 育英奨学資金の貸与事業

前事業年度とほぼ同様の募集方法に拠ったものであるが、採用については、申込のあった者に対し、面接の上条件が合致していれば、すべて奨学生として採用することを基本方針とした。

この結果、大阪府教育委員会、各高等学校、中学校、大阪青年会議所等の協力も得て本年も予算の30%の奨学貸与事業を実施することが出来た。

	1 年 生	2 年 生	3 年 生 (高専の4年生含む)	計
高等学校奨学生				
高専の1～4 年生を含む	9	12	9	30
同上貸与金額	1,620,000	2,220,000	1,560,000	5,400,000

なお、次年度の予約奨学生数（61年4月より高校に進学し、貸与を開始する予定の申込決定者。） 合計 7名

2. 入学資金の貸与事業

入学資金貸与事業は20名の貸与者を目標として実施し、特に公立学校入学者に対しても貸与を実施することにしたものの、数字的には4名に貸与したのみの結果となった。

3. 交通遺児に対する補導教育等の事業

(1) 川口財団憩の家の運営

60年7月中旬より8月下旬までの期間、例年どおり川口財団憩の家を交通遺児並びにその保護者に開放して運営を行なった。

2泊3日の利用により、日常家庭的な行事を持つ機会の少ない遺児た

ちにその十分な機会を提供する目的で実施しているものであるが、レジャー等の多様化に伴ない年々利用者が減少しつつあり、本年度は僅かに利用者は2家族のみであった。なお、この事業の運営並びに遺児の世話については、引続き瀬堂雅夫氏の御協力を得ている。

(2) J C 青年の船への参加

社団法人日本青年会議所主催による第15回J C青年の船(昭和60年6月7日から11日間の船旅)に、当財団より下記の奨学生OB2名が参加した。青年としての広い視野と国際性を体得し、且つ楽しい思い出を持つことが出来た。

尚、次年度にも参加出来るよう社団法人大阪青年会議所の協力を得て、今年も財団奨学生、奨学生OB全員並びに、財団法人大阪交通災害遺族会に案内状を発送し、次の6名の申し込みがあり、面接の結果その全員を推薦することとした。

第15回 青年の船参加者

(氏名)	(年齢)	(勤務先)
吉本昌弘	27	トライオン ㈱
山下仁子	27	

第16回 青年の船推薦者

(氏名)	(年齢)	(勤務先)
友田大志	29	大阪府福島警察署
田中政弘	21	学生
早川秀樹	22	
戴裕美子	26	㈱リンデンアベニュー
西尾弘之	21	
相根小百合	19	学生

以上

II 庶務の概要

1. 役員等に関する事項

昭和 60 年度末現在役員等

役名	氏名	就任年月日	担当業務	手当	現職
理事長	川口正昭	46. 5	法人の代表及び事務の総理	-	神戸大学教授
副理事長	中谷洋一	46. 5	理事長職務の補佐	-	公認会計士
理事	竹谷新	49. 6	特になし	-	帝国女子大教授
〃	桜井良文	49. 6	〃	-	阪大教授
〃	平岡英信	51. 1	〃	-	清風学園校長及仏教大学講師
〃	大津 济	52. 5	〃	-	住友信託銀行(株)顧問
〃	丹羽健二	58. 6	〃	-	丹羽不動産(株)代表取締役社長
監事	筒井陽太郎	57.11	〃	-	中谷公認会計士事務所総務
〃	上杉順三	58. 6	〃	-	住友信託銀行(株)営業部部长
評議員	辰野元彦	58. 6	〃	-	辰野 (株)
〃	藤田 寛二	58. 6	〃	-	イチフジ興産(株)代表取締役
〃	谷 一寛	58. 6	〃	-	(株)谷安組専務取締役
〃	川崎健市	58. 6	〃	-	(株)近畿建設
〃	八木 誠	58. 6	〃	-	(株)八木製作所 代表取締役
〃	山本康雄	58. 6	〃	-	日本施工管理 (株)代表取締役社長
〃	藤 孝子	58. 6	〃	-	日本情報サービス (株) 大阪中央 Y M C 青少年活動委員
〃	高木修二	46. 5	〃	-	阪大教授
〃	竹之内 脩	46. 5	〃	-	阪大教授
〃	森本政夫	58. 6	〃	-	住友信託銀行(株) 金沢支店支店長
〃	矢野正三	58. 6	〃	-	住友信託銀行(株) 財務相談課課長
〃	吉田 実	49. 6	〃	-	
〃	今永智一郎	46. 5	〃	-	
〃	谷 武	59. 5	〃	-	中谷公認会計士事務所総務部長
〃	森本 年	59. 5	〃	-	(社)大阪青年会議所 事務局長

2. 職員に関する事項

職務	氏名	就任年月日	担当業務	手当	備考
一般事務	大星としこ	58. 9. 1	事務処理 全 般	月額 50,000円 賞与 年2ヶ月	
	林 由紀子	60. 4. 1	同 上		

注) 上記の他、前期同様学生アルバイト等を臨時的に依頼した。

3. 会議に関する事項

(1) 理 事 会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
昭和 60 年 5 月 24 日	1. 昭和 59 年度 事業報告書承認の件 2. 昭和 59 年度 収支計算書承認の計	承 認 〃
昭和 61 年 3 月 1 日	1. 昭和 60 年度収支補正予算承認の件	承 認
昭和 61 年 3 月 26 日	1. 昭和 61 年度収支予算書承認の件 2. 昭和 61 年度事業計画案承認の件	承 認 〃

(2) 評 議 員 会

開 催 年 月 日	議 事 事 項	結 果
昭和 60 年 5 月 24 日	1. 昭和 59 年度事業報告書承認の件 2. 昭和 59 年度収支決算書承認の件	承 認 "
昭和 61 年 3 月 1 日	1. 昭和 60 年度収支補正予算承認の件	承 認
昭和 61 年 3 月 26 日	1. 昭和 61 年度収支予算書承認の件 2. 昭和 61 年度事業計画案承認の件	承 認 "

4. 寄 附 金

寄 附 の 目 的	寄 附 者	住 所	領 収 金 額
一般会計歳出に 充てるため	中谷公認会計士 事務所所員有志	大阪市南区難波 2丁目3番26号	44,799
計			44,799

収 支 計 算 書

自 昭和 60 年 4 月 1 日
至 昭和 61 年 3 月 31 日

I 収支計算の部

(単位: 円)

1) 収入の部				予 算 額	決 算 額	差 異(△)	備 考
勘 定 科 目							
大 科 目	中 科 目	小科目					
1. 基本財産等 運用収入	利 息 収 入		1 4 2 7 1,1 7 8	1 4 8 7 9,9 2 3	△ 6 0 8,7 4 5		
2. 寄付金収入			0	4 4,7 9 9	△ 4 4,7 9 9		
3. 奨学貸与金回収収入			0	2,6 4 1,0 0 0	△ 2,6 4 1,0 0 0		
前期繰越収支差額			5 4,6 0 9,1 1 6	5 4,6 0 9,1 1 6	0		
収 入 合 計			6 8,8 8 0,2 9 4	7 2,1 7 4,8 3 8	△ 3,2 9 4,5 4 4		
2) 支出の部				予 算 額	決 算 額	差 異(△)	備 考
勘 定 科 目							
大 科 目	中 科 目	小科目					
1. 管 理 費	(1) 人 件 費		(1,1 0 0,0 0 0)	(9 1 5,0 0 0)	(1 8 5,0 0 0)		
	(2) 消 耗 費		(1,1 0 0,0 0 0)	(5 8 3,0 1 0)	(5 1 6,9 9 0)		
	消 耗 品 費		1 0 0,0 0 0	5,5 5 0	9 4,4 5 0		
	図 書 印 刷 費		6 0 0,0 0 0	3 6 7,7 8 0	2 3 2,2 2 0		
	通 信 運 搬 費		2 0 0,0 0 0	9 9,4 0 0	1 0 0,6 0 0		
	旅 費 交 通 費		1 0 0,0 0 0	2 2,0 8 0	7 7,9 2 0		
	雑 費		1 0 0,0 0 0	8 8,2 0 0	1 1,8 0 0		
	(3) 会 議 費		(2 0 0,0 0 0)	(1 2 0,3 0 2)	(7 9,6 9 8)		
	役 員 会 費		1 0 0,0 0 0	1 0 0,0 0 0	0		
	そ の 他		1 0 0,0 0 0	2 0,3 0 2	7 9,6 9 8		
	(4) 一 般 諸 経 費		(2 0 0,0 0 0)	(6 9,1 0 0)	(1 3 0,9 0 0)		
	租 税 公 課		1 5 0,0 0 0	5 6,3 0 0	9 3,7 0 0		
	保 険 料		5 0,0 0 0	1 2,8 0 0	3 7,2 0 0		
	(5) 雑 費		(5 0 0,0 0 0)	(1 6 3,8 5 0)	(3 3 6,1 5 0)		
	2. 事 業 費	(1) 奨 学 貸 与 金		(1 6,8 0 0,0 0 0)	(5,4 0 0,0 0 0)	(1 1,4 0 0,0 0 0)	
(2) 入 学 金 貸 与 金			(2,0 0 0,0 0 0)	(4 0 0,0 0 0)	(1,6 0 0,0 0 0)		
(3) 学 生 補 導 費			(1 0 0,0 0 0)	(0)	(1 0 0,0 0 0)		
(4) 教 育 集 会 費			(2,0 0 0,0 0 0)	(5 0,0 0 0)	(1,9 5 0,0 0 0)		
(5) 就 職 幹 旋 費			(1 0 0,0 0 0)	(0)	(1 0 0,0 0 0)		
(6) 憩 の 家 運 営 費			(1,0 0 0,0 0 0)	(1 8 3,0 0 0)	(8 1 7,0 0 0)		
(7) 青 年 の 船 事 業 費			(1,5 0 0,0 0 0)	(4 5 0,8 0 0)	(1,0 4 9,2 0 0)		
(8) 青 年 の 船 事 業 費 金 前 払			(1,2 9 6,6 0 0)	(1,2 9 6,6 0 0)	(0)		
3. 予 備 費			(2 0 0,0 0 0)	(0)	(2 0 0,0 0 0)		
4. 次 期 繰 越 収 支 差 額			(4 0,7 8 3,6 9 4)	(6 2,5 4 3,1 7 6)	(△ 2 1,7 5 9,4 8 2)		
支 出 合 計			6 8,8 8 0,2 9 4	7 2,1 7 4,8 3 8	△ 3,2 9 4,5 4 4		

II 正味財産計算の部

(単位：円)

1) 増加の部			
勘定科目		決算額	備考
大科目	中科目		
資産増加額	奨学貸与額	4,590,000	
	入学資金貸与額	400,000	
	基本財産金銭信託増加額	530,000	
	青年の船事業費前払金	1,296,600	
負債減少額		0	
基本金減少額		0	
前期繰越増減差額		53,014,250	
増加額合計		59,830,850	
2) 減少の部			
勘定科目		決算額	備考
大科目	中科目		
資産減少額	奨学貸与金戻入額	} 2,641,000	
	入学資金貸与金戻入額		
	基本財産未収入金減少額		
負債増加額		0	
基本金増加額		0	
減少額合計		3,171,000	
次期繰越増減差額		56,659,850	{ 次期繰越増減差額 56,659,850 } { 次期繰越収支差額 62,543,176 }
剰余金合計		119,203,026	

貸 借 対 照 表

昭和 61 年 3 月 31 日現在

1. 資 産 の 部

(単 位 : 円)

勘 定 科 目		摘 要	金 額			
大 科 目	中 科 目		基 本 金		そ の 他 資 産	計
			基本財産	運用財産		
流 動 資 産	現 金	手 許 在 高			108,700	108,700
	預 貯 金	(定 期 預 金)				
		住 友 銀 行 佐 野 支 店			1,000,000	
		(普 通 預 金)				
		住 友 信 託 銀 行 阪 急 梅 田 支 店			7,211,809	
		" 難 波 支 店			664,748	
		富 士 銀 行 "			36,077	
		三 和 銀 行 "			1,680,208	
		大 和 銀 行 "			536,807	
		住 友 銀 行 "			478,807	
		" 佐 野 支 店			121,504	
		京 都 銀 行 口 大 野 支 店			54,723	
		(当 座 預 金)				
		住 友 信 託 銀 行 阪 急 梅 田 支 店			28,650	
		(貸 付 信 託)				
住 友 信 託 銀 行 阪 急 梅 田 支 店			49,300,000			
(金 銭 信 託)						
住 友 信 託 銀 行 難 波 支 店			334,998			
振 替 預 金			506,145			
		青年の船事業費前払金			1,296,600	63,251,076
流 動 資 産 合 計					63,359,776	63,359,776
有 形 固 定 資 産	土 地	京 都 府 中 郡 大 宮 町 字 奥 大 野 553-1 宅 地 367.27 m ² S.46.5.27 取得	249,975			
		同 上 553-2	2,219			
		山 林 185 m ² "				
		同 上 554	467			
		山 林 42 m ² "				
	同 上 小 字 平 太 郎 18	7,143				
		(土 地 小 計)				(259,804)
	建 物	京 都 府 中 郡 大 宮 町 字 奥 大 野 553-1 木 造 亜 鉛 メ ッ キ 鋼 板 居 宅 平 家 建 49.26 m ² "	3,575,120			(3,575,120)
有 形 固 定 資 産 合 計			3,834,924			3,834,924
そ の 他 の 固 定 資 産	未 収 入 金 金 銭 信 託 貸 付 信 託	吉 岡 幸 徳 氏	7,795,274			7,795,274
		住 友 信 託 銀 行 阪 急 梅 田 支 店	3,374,000			3,374,000
		" "	96,424,880	59,300,000		
		" "	9,600,000	3,575,120		
	" 難 波 支 店			1,120,000	480,000	170,500,000
	奨 学 貸 与 金	入 学 金 貸 与 額 を 含 む			55,363,250	55,363,250
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計			117,194,154	63,995,120	55,843,250	237,032,524
固 定 資 産 合 計			121,029,078	63,995,120	55,843,250	240,867,448
資 産 合 計			121,029,078	63,995,120	119,203,026	304,227,224

2. 負債の部

勘定科目		金額			
大科目	中科目	基本金		その他の資産	計
		基本財産	運用財産		
流動負債合計		0	0	0	0
固定負債合計		0	0	0	0
負債合計		0	0	0	0

3. 正味財産の部

勘定科目		金額			
大科目	中科目	基本金		その他の資産	計
		基本財産	運用財産		
基本金	基本財産	121,029,078			
	運用財産		63,995,120		185,024,198
剰余金	次期繰越収支差額			56,659,850	
	次期繰越増減差額			62,543,176	119,203,026
正味財産合計		121,029,078	63,995,120	119,203,026	304,227,224
負債及正味財産合計		121,029,078	63,995,120	119,203,026	304,227,224

101

財 産 目 録

区分	昭和61年3月31日			
	基本金		その他の資産	計
	基本財産	運用財産		
資産	121,029,078	63,995,120	119,203,026	304,227,224
負債	0	0	0	0
差引残高	121,029,078	63,995,120	119,203,026	304,227,224

(注) 内訳明細は貸借対照表に同じ

収支計算書総括表

自 昭和 60 年 4 月 1 日
至 昭和 61 年 3 月 31 日

1. 収入の部

(単位：円)

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
基本財産等運用収入	14,879,923	14,879,923	0
寄附金収入	44,799	44,799	0
奨学貸与金回収収入	2,641,000	2,641,000	0
前期繰越収支差額	54,609,116	54,609,116	0
合 計	72,174,838	72,174,838	0

1. 支出の部

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
管 理 費	1,851,262	1,851,262	0
事 業 費	7,780,400	7,780,400	0
予 備 費	0	0	0
次期繰越収支差額	62,543,176	62,543,176	0
合 計	72,174,838	72,174,838	0

貸借対照表総括表

昭和61年3月31日現在

1. 資産の部

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計
流動資産合計	63,859,776	63,859,776	0
有形固定資産合計	3,834,924	3,834,924	0
その他の固定資産合計	237,032,524	237,032,524	0
固定資産合計	240,867,448	240,867,448	0
資産合計	304,227,224	304,227,224	0

2. 負債の部

科 目	合 計	一般会計	特別会計
流動負債合計	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0

3. 正味財産の部

科 目	合 計	一般会計	特別会計
基本 金	185,024,198	185,024,198	0
剰余金合計	119,203,026	119,203,026	0
正味財産合計	304,227,224	304,227,224	0
負債及正味財産合計	304,227,224	304,227,224	0

監 査 報 告 書

昭和 60 年度 決算書類等監査の結果、正確にして適法かつ妥当なことを認めます。

昭和 61 年 5 月 8 日

財団法人 川口交通遺児育英会

監 事 上 杉 順 三 ㊟

監 事 筒 井 陽 太 郎 ㊟

昭和61年度事業計画書

1. 学生生徒に対する育英奨学金の貸与

貸与対象者を最低50名以上とし、100名の貸与者とすることを目標として募集を行なう。

(1) 奨学生数

(人)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	計
高等学校奨学生	40	24 (9)	28 (12)			92 (21)
高等専門学校奨学生	3	2	2	1	0	8
計	43	26 (9)	30 (12)	1	0	100 (21)

㊦ 上表中()内の数字は、前年度より引き続きの人数

(2) 奨学金額等

(イ) 昭和58年4月以降に入学した者

		貸与金額	支給期間
高等学校奨学生	1人当り	月額15,000円	61年4月 ～62年3月
高等専門学校奨学生	1人当り	月額15,000円	61年4月 ～62年3月

(ロ) 昭和60年4月以降に入学した者

高等学校奨学生	1人当り	月額	<table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td style="padding: 0 5px;">貸与</td> <td style="padding: 0 5px;">7,500円</td> <td style="padding: 0 5px;">61年4月</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">}</td> <td style="padding: 0 5px;">給与</td> <td style="padding: 0 5px;">7,500円</td> <td style="padding: 0 5px;">～62年3月</td> </tr> </table>	{	貸与	7,500円	61年4月	}	給与	7,500円	～62年3月
{	貸与	7,500円	61年4月								
}	給与	7,500円	～62年3月								
高等専門学校奨学生	1人当り	月額	<table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td style="padding: 0 5px;">貸与</td> <td style="padding: 0 5px;">7,500円</td> <td style="padding: 0 5px;">61年4月</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">}</td> <td style="padding: 0 5px;">給与</td> <td style="padding: 0 5px;">7,500円</td> <td style="padding: 0 5px;">～62年3月</td> </tr> </table>	{	貸与	7,500円	61年4月	}	給与	7,500円	～62年3月
{	貸与	7,500円	61年4月								
}	給与	7,500円	～62年3月								

2. 学生生徒に対する入学資金の貸与

入学資金の貸与は従来どおり1名100,000円を20名の貸与者を目標として実施するが、すでに5名の予約申込者がある。

3. 寄附行為第4条第2号に定める事業

(1) 川口財団憩の家の運営

利用収容計画

時 期 7月中旬～8月下旬までの期間申込希望により

人員数 約10家族（1家族2名 2泊3日とする）

宿泊に要する費用及び交通遺児と保護者1名の旅費は当財団が負担。

天の橋立海水浴場並びに登山における事故負担について財団が免責できるように措置を採る。

運営並びに遺児の世話については、引続き瀬堂雅夫氏の全面的援助協力を依存する。

(2) 青少年キャンプの開催

精神的な面での援助や指導を必要とする生徒・児童を対象とする少年野外キャンプについては本年度も独自の実施は見合わせ、下記のとおり計画で行なわれる財団法人大阪交通災害遺族会のプロジェクトに協賛することとする。

期 日 昭和61年7月25日(金)～28日(月)

場 所 大阪府豊能郡能勢町宿野 北摂高原

大阪府総合青少年野外活動センター 本館

対 象 者 小学校高学年より高校生までの男女約100名

(当財団の奨学生たる高校生をグループリーダーとする。)

行事内容 ハイキング、アーチェリー、キャンプファイヤー等

目 的 野外活動に適応する能力と若干の技術の養成並びに団体行動における責任感と協調性を養い、併せて明朗な生活態度を身につけるようにする。

(3) J. O 青年の船への参加

次代を担う青年が国の内外において諸外国の青年と相互理解を深め、さらに広い視野と国際的な感覚を身につけることは、今日の国際化時代にふさわしく、極めて時代の要請に応え得るものであるとの観点から国際的な青年の育成と連帯を目指すことを目的として、昭和 61 年 6 月 10 日 (火) からグァム、基隆、をまわり 6 月 21 日 (土) まで行なわれる J O 青年の船の企画に続いて参加することとし、当財団の奨学金を受けて卒業した 2 名と、財団法人大阪交通災害遺族会の 4 名を推薦して参加乗船させることとした。

予 算 書

自昭和61年4月 1日
至昭和62年3月31日

I 収入支出の予算

(単位:円)

1) 収入の部				予 算 額	前年度予算額	増 減(△)	備 考
勘 定 科 目							
大 科 目	中 科 目	小科目					
1. 基本財産等 運用収入	利息収入		13,212,695	14,271,178	△1,058,483		
前期繰越収支差額			6,254,317	5,460,916	7,934,060		
収 入 合 計			75,755,871	68,880,294	6,875,577		
2) 支出の部				予 算 額	前年度予算額	増 減(△)	備 考
勘 定 科 目							
大 科 目	中 科 目	小科目					
1. 管 理 費	(1) 人 件 費		(1,100,000)	(1,100,000)	(0)		
	(2) 消 耗 費		(1,100,000)	(1,100,000)	(0)		
	消 耗 品 費		100,000	100,000	0		
	図 書 印 刷 費		600,000	600,000	0		
	通 信 運 搬 費		200,000	200,000	0		
	旅 費 交 通 費		100,000	100,000	0		
	雑 費		100,000	100,000	0		
	(3) 会 議 費		(250,000)	(200,000)	(50,000)		
	役 員 会 費		150,000	100,000	50,000		
	そ の 他		100,000	100,000	0		
(4) 一 般 諸 経 費	租 税 公 課		(200,000)	(200,000)	(0)		
	保 險 料		150,000	150,000	0		
	保 險 料		50,000	50,000	0		
	(5) 雑 費		(500,000)	(500,000)	(0)		
	2. 事 業 費	(1) 奨 学 金 貸 与 費		(16,800,000)	(16,800,000)	(0)	
(2) 入 学 金 貸 与 費			(2,000,000)	(2,000,000)	(0)		
(3) 学 生 補 導 費			(100,000)	(100,000)	(0)		
(4) 教 育 集 会 費			(1,000,000)	(2,000,000)	(△1,000,000)		
(5) 就 職 幹 旋 費			(100,000)	(100,000)	(0)		
(6) 憩 の 家 運 営 費			(1,000,000)	(1,000,000)	(0)		
(7) 青 年 の 船 事 業 費			(2,500,000)	(1,500,000)	(1,000,000)		
3. 予 備 費			(200,000)	(200,000)	(0)		
4. 次 期 繰 越 収 支 差 額			(48,905,871)	(42,080,294)	(6,825,577)		
支 出 合 計			75,755,871	68,880,294	6,875,577		

予 算 総 括 表

自 昭 和 6 1 年 4 月 1 日
至 昭 和 6 2 年 3 月 3 1 日

I 収 入 の 部

(単 位 : 円)

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
基本財産等運用収入	13,212,695	13,212,695	0
前期繰越収支差額	6,254,317	6,254,317	0
合 計	75,755,871	75,755,871	0

II 支 出 の 部

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
管 理 費	3,150,000	3,150,000	0
事 業 費	23,500,000	23,500,000	0
予 備 費	200,000	200,000	0
次期繰越収支差額	48,905,871	48,905,871	0
合 計	75,755,871	75,755,871	0